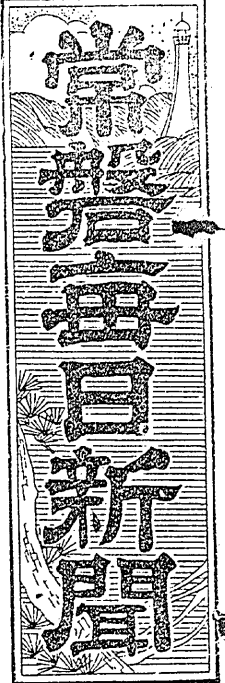


刊夕 日十月二



定額一圓五角
 廣告料五號十二字一圓五角
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

常磐炭田の開発と

片寄平藏 [五]
 山口彌一郎

3、材木商
 先代より木挽職人より材木商となり手廣く各地を歩き江田の賣出屋や明石屋との取引を續けてゐた。夏井川上流の川前附近より木材を他に受請負はしめて切り出した、文書の末篇に次の如きがある。

- 前不明
- 一、道作り之儀者貴殿御勝手之事
 - 一、車力之儀者村方人足相當之賃料申受相働可申候事
 - 一、米、味噌、酒等之儀者村方より時相場を以賣渡可申候事
 - 一、保太平割賦送之儀者五拾歳壹挺之割合を笠間御領分
- 大森村
 古川屋平藏殿

圍 爐 裏

床の間の古刀にはゆる實南天床に生けて短尺さげぬ實南天赤き實の南天活けて孔雀石ゆさ／＼と南天賣りの通りけり寒の入り南天の實のこばれけり實南天真赤に映えて今朝の雪垣修理美しき門や白南天松に雪實南天赤し朝の庭實南天春待ち顔や雪の中鳥の影うつる小窓や實南天

良 閑 月 亭
 十 湖 晴 月 亭
 良 閑 月 亭
 秀 鐘 千 湖 閑 月 亭
 峰 樓 鳥 晴 月 亭

秋田は木材の産地である爲め秋田の佐竹藩にとり入り雄勝郡河井村菅運吉なる者と取引をししばしば往復して居た。嘉永二年（一八四九年）八月運吉と共に附近の深山に入り良材を探して居た際幾百年も成長した

ノット

釘を眞直に打つに針を通して打ちこむと手も打たずに眞直に打たれます

桐の大木周囲二丈八尺四寸枝下十間餘、其葉は小さくて當百錢大のみをみつけた稀な美材であるとして之を幕府の徳川公に大廣間の火鉢用と當時江戸表の取引先深川區騎馬町賣出材木店に送り之を献じた。徳川公大いに賞美され其の志を嘉された。

之れに對して桐の大木は枝下が見事なので徳川公の御乗馬用の棒として献じ公大いに之を嘉し、當時最も平民の榮譽とする苗字帯刀及び特に乗馬を許されたと云ふ口碑もあるが帯刀及び乗馬は次に述べる笠間公への忠節に依るものであると云ふ説もある。

木炭のし

御用命はお客様本位に勉強する
 「電話二四四番」へ
 多少に拘らず早速御届け致します

市原商店

貸切の御用命は!!!

獅子吼 四四九ノ勢デ
 眞先ニ (マツサキ)
 ミクニ
 三九ニタクシーへ!!!

外科 X 光線科
 性病科
 外科

安齊外科醫院
 平町田町
 電話四七五番

三井質店

御融通には! 是非御利用を.....
 萬事便利な御相談に應じます。

吸入用炭酸素純度 99%

モノサシ
 マス
 ハカリ



体温計
 寒暖計

關内藥局

●寫真材料一式販賣致シマス
 ●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

今流行のレコード

- 東京音頭
- 昭和音頭
- 福島音頭
- 萬歳音頭
- スキ行進曲
- 希望の首途
- 春のエレチ
- 急げ馬車
- ピクチャー特約店
- コロンピヤ

金光堂時計店

最近産地かき貝豊漁に付下店直接産地より買込かき料理を大値下げして舊暮の御務を致しますと共に
 来る十二日迄マグロデーとし勉強いたしますから何卒御試食下さい、もし御口に合ない時は御遠慮なく御返し下さい、直ぐ取りに參ります。

- (かき料理)
- なべ(一人前) 二五
 - 酔の物 二五
 - フライ 二〇
 - 百 二五
- (マグロ料理)
- さしみ 二五
 - すし 二〇
 - てつか巻 二〇
 - ねぎまなべ 二〇

魚清食堂部

平警察署通り
 電話六三三番

都市的美觀を添ふ

舗装計画協議

平町を泥土禍より救出

關係各區長賛意を表す

面積と負擔割

平町の國道側溝は研町通り
の一部を跨すのみにて殆ん
と完成に近く路上整美上甚
大な

効果が認められて居
るが更らに小林土木監督所
長の肝煎りに依つて長橋町
より紺屋町元警察署前を經
て本町通りより五丁目愛谷
橋に至る四千六十九坪八合
六勺の國道舗装計畫が既記
の如く出現した

同計畫

懸案であり平町を泥濘禍よ
り救出し都市的な美觀を高
調する施設として多大の期
待を懸けられて居るが總工
費約四萬圓と稱せられ其内
三分の一の一萬二千圓が地
元負擔となる

豫定である處より其
半額を平町が負擔し残る六
千圓を受益者の寄附に據る
旨にて昨日午後一時より町
會議室に青沼町長、酒井助
役、神長倉土木技手、野崎副
議長土木委員關係區長參集
協議を遂げたが各町

の舗装面積は左記の如く
町名 坪數

長橋	四二七
研町	一一九
材木町	八六
紺屋町	七七一
一丁目	五〇八
二丁目	五五八
三丁目	四八四
四丁目	五〇八
五丁目	五九七

擔すると云ふにあるが紺屋
町以西を本町通りに比較す
る時は舗装面積が狭く且つ
交通量等も少ない
關係上 工費負擔に於
て本町六對紺屋町北西四の
ハンデキャップを附する事と
なり間口一間當り大体本町
通り四圓七十錢、紺屋町以
西三圓九錢となる豫算にて
各區長は夫々區内の意嚮を
取纏むべく申合せ舗装計畫
に賛意を表して午後四時協
議を終つた

此の機を逸せば

實現性覺束なし

卅年間は保證付の
膠石式設計に依る

別項平町の舗装設計に依れ
ば設計標準はベネトレーシ
ョン式サンドウイッチ式等
種々あるも其の何れにも寄
らず「膠石舗装」と稱し

道路の裏土を掘つて

ルーラー回轉に依り地固め
を爲し四寸厚みにコンクリ

ート(セメント一、バラス
三、砂利六の割合)にて固
めた上を更らに一吋五分厚
みに膠石(セメントと小石を
交ぜたる物)を塗る設計で
約卅年間は
微動だもしない保證
付きの堅牢な工事であるま

た縣の氣乗りして居る場合
であるから今回の機會を逸
しては平町の舗装計画も實
現性がなくなる懼れあり
多少の
犠牲を忍んでも決行
したいと關係區長は意氣込
んで居る

江名貧困救濟

紅名
町では此程貧困者救濟の爲
め町内有志が寄附の募集を
した結果八十八圓五十錢に
達したが貧困者廿四名に最
高五圓から最低一圓を昨九
日支給し小學校にも欠食兒
童へと五圓寄附した由

救濟者なし

巨救工事の功德

豊間村民御内福

豊間村では昨年中の巨救事
業として港灣工事に村民を
多數使役しその人夫賃金は
合計二万六千圓に達して
居るので本年は舊正月に當
り救濟すべき者一名も無く
皆内福であると

剣道は平商快勝

柔道は兩校同點

接戦を演じた磐平武道戦

既報平商武道部では昨日午
前十時半より同校道場に於
て寒稽古納會を開催部員一
同の紅白試合終了後磐中と
對抗試合を行ったが剣道は
十一對七のスコアにて平
商の勝、柔道は大接戦を演
じ四對四の同點となつた
因に戦績は左の如くである
△柔道

平商	磐中
千葉	遠藤
木村	矢吹
西川	渡邊
白井	伊達
岡野	根本
木田	田久
若松	引分

警炭が

救濟金寄附

救濟金寄附

内郷村警炭炭礦では舊年末
に村内の貧困者を救濟され
度いと村役場に金一封を寄
附したので同役場では貧困
者四百三十三名に對し一人
當り二十錢宛を支給した

訓盲院へ

御下賜金

梅崎理事出縣
紀元節の佳辰を卜し宮内省
から盲教育御獎勵金御下賜
の御沙汰に接した磐城訓盲
院では梅崎理事が明日午前
九時から福島縣廳で舉行さ
れる御下賜金傳達式に出席
のため本日午前十一時發列
車で出福した

ムシ口織

内郷で講習

内郷村大字内町字水ノ出部
落では村民の經濟向上を計
る爲め此程縫織織機を購入
し縫織機で去る七日より
一週間の講習會を開いて居
るが小名濱町のみで漁肥製
造者が使用する筈は一年に
七万枚と云はれ一枚八錢位
で購入して居るので捌け口
に心配なく講習生三十人は
熱心に傳習を受けて

海軍志願

検査官決定

既報来る廿八日午前七時よ
り平第三小學校で執行され
る本年度海軍志願兵の徵募
検査官は横須賀鎮守府の川
崎進少佐であると

平町人事

回出生

△新川町一八當時東京市淺
草區山谷二ノ五杉本重太
郎氏三男利也
△田町四五當時岩手縣盛岡
市下厨川八小川清茂氏長
男澄
△五丁目一三當時東京市城
東區龜戸町一ノ七四酒井
末二氏二女和子
△鎌田町五二當時東京市足
立區千住元町三〇小林隆
雄氏長男隆
△死亡
△搔樋小路三一當時茨城縣
多賀郡日立町宇宮田高橋
力之助(二ツ)

新學年の御用意

ランドセル (三十種)

手提カバン (三十種)

マルトモ柴田書店

電話 二五 三九 四七

青寫眞の設計圖を 持ち廻る詐欺漢

築港の購入品と稱して 品類をかたる

最近小名濱町の商店に風采の賤しからぬ男が内務省技師と稱し小名濱築港第三圖と云ふ怪しげな青寫眞を持ち廻り近く此の工事に着手するのだが人夫の使用する手帳、手袋、ゴム足袋等を地元から納入せしめる方針になつたとて五百圓から千圓の見積書を即座に作らせた上納入見本として二三十点づつを持ち去る怪紳士があり同町に八、九件を始め湯本町に迄數件の被害があるので警部補派出所では極秘裡に犯人捜査中の處大體犯

夜警中に 轉んで怪俄

公傷を申請

警備消防組第三部組員藁谷五郎氏は昨年十二月廿一日防犯週間夜警の際誤つて轉倒左膝を挫折して全治二週間の傷を負ひ自宅で治療して居るので本日同村消防組頭瀧徳也氏より公傷としての手當方を平署に申請して來た

野犬狩りの 惨忍な遣り方を 改めて欲しいと 多數識者から問題視さる

識者有志の間に喧嘩 しき論議的となりつゝあ り今後の状態如何によつて は野犬狩りの方法變更運動 が具体化するのではないか と見られてゐる尙右に就て 本社宛に平町其有志から左 の如き投書が來てゐる

野犬の放置は狂犬病その他危険が多く人心に不安危懼の念を抱かせること尠らざる

平署では野犬の徹底的撲滅を計る目的で目下大々的に野犬狩りを執行してゐるがその撲殺方法の残忍さが動物愛護觀念獎勵に背馳し社會風教上に及ぼす影響また大なるものありとし

て先き頃より識者有志の間に喧嘩しき論議的となりつゝあり今後の状態如何によつては野犬狩りの方法變更運動が具体化するのではないかと見られてゐる尙右に就て本社宛に平町其有志から左の如き投書が來てゐる

野犬狩りそのものは是非なしとしても今日行はれ

豊間大敷網好成績

賃銀を懐中に漁夫等歸省

豊間大敷網漁業組合では此程漁業を打切つたが漁夫百餘名は昨日郷里に歸省したが昨年度の漁獲高は二十萬圓と云ふ好成绩で不況の年は漁夫の給金も翌年に持越される例であつたが本年は賃金一萬圓を全額支拂つたので漁夫等はホクホクである

露油購入の協議

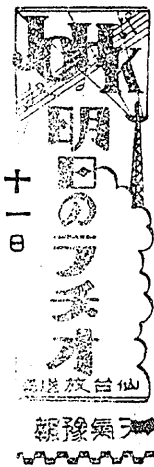
委員十六名を擧げて

既報自動車協會平支部では過般の總會で決定された松方露油の共同購入が未だ名のみで其の實が擧がらないので此程左記十六名の購入委員を任命し来る十二日午後一時より平署會議室で第一回の委員會を開き露油購入の具体を決定すると

裁判所たより

△既報双葉郡大野村大字大川原字森頭八菅野傳(三)及び實母クラヨ(三)が安齋辯護士を代理人とし同所石井傳二(三)と相手取り平支部に私生子認知の訴を提起した事件の口頭辯論は昨日午後一時より平支部に於て中島判事係り場口、香西兩判事陪席原告代理人、安齋被告代理人千葉兩辯護士列席の下に開廷證人其他各關係者の取調べを行つたが来る三月二日に續行された

△既報双葉郡熊町村大字夫



今晚も明日も北西の風雲

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
連続童話劇「あつちばた」
第一日出演大阪童話教育
研究会
後七、三〇 時事解説
後九、三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組豫告
明日の部
前八、〇〇 奉祝唱歌 紀
元節唱歌 君ヶ代女子放送
合唱團
前八、五五 紀元節奉祝國

際交換放送
前一〇、〇〇 建國祭式典
實況上野公園動物園前廣
場より中継
前一〇、〇〇 記念講演
一紀元節制定と建國大精
神 法學博士 尾佐竹猛
後〇、五〇 滿洲より
後一、二〇 神傳八雲琴吳
竹白枝の松一色輝琴
後一、五〇 舞臺劇
後二、二〇 常磐津
後二、五〇 ラクビー試合
實況 濠洲對全日本ラク

ビ一戰神宮より中継
後六、〇〇 子供の時間
吹奏樂皇太子殿下御誕生
奉祝歌外四種吳海軍々樂
隊
後七、三〇 長唄 連夜三
題の内第一夜芳村伊十郎
外大勢
後八、二〇 清元と齒八節
清元延稻外
後八、五〇 管絃樂 八ッ
の小曲 日本放送交響樂
團指揮 山田耕作

澤宇間子橋九〇農山口寅松(三)が裁縫女學生同村村上フミ子(三)さん假名を暴行した事件は去る三十日豫審終決有罪と決定陪審裁判を辭退したので来る二十二日午前九時より平支部公判廷に於て中島裁判長係り關口香西兩判事陪席、清田檢事立會、千葉、門偉兩辯護士列席の下に公判を開廷する事になつた

給料面談
△店員 二十七才 佑賢卒
給料面談

平職業紹介所報告

回人を求める方
△外交員 五十迄 尋卒
給料面談
△トラック助手 二十三才
尋卒 月十圓
△線糸工 三十迄 尋卒
給料面談
回職を求める方
△土工夫 三十七才 尋卒
給料面談
△事務員 二十才 中五在
學 給料面談
△木工職 二十三才 高卒
給料面談
△土工夫 四十一才 高卒

木村外科醫院

平町五丁目目橋際 電話三〇九

看護婦急派

の求めに應じます

平看護婦會

電話三〇七番

銘劍秘双録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第一百五十五回 徳川家に崇る村正

山賊共覺悟せよ

武「身共は武藝修行の者であるが此の峠を通り掛ると貴様が降り落ちて氣絶した様子、介抱して遣はしたが禮も言はず勝負をしるとは何の事だ」

二「これはまあとんだことを致しました、私共は信州小諸信濃屋新兵衛と言ふ大家に出入を致して居ります

二「何ぢやか知らんが四五十人居たかと思ひます」
武「シテ其方の主人と言ふのは」
二「擔がれて参りました、どんな目に逢つてゐるか知れませんが、私も大旦那から頼まれて伴や嫁の事を頼むと言はれて居ります、是つきり歸るといふ事もありません、どうぞ御武家様恐れ入りますが、主人をお助け下さる事になりません、武「如何にも承知した、義

らげにして二子山角太夫登つて行く、後より浪人も登つて参りましたが、流石は武士、猿の梢を傳ふ様に登つて行く何時しか二子山より先になつて
武「コレ、相撲取り早く参れ」
二「ハイ宜しくどうか案内をして……」
武「何方が案内をするのだ……」
漸くの事で元の所へ参りましたが、何方へ行つたか知れませんが、何でも彼方へ行つた跡をつけて行つたら知れるだらうとそれかな彼れは七七八八来ると森蔭に

二「且那お一人で……」
武「大事ない」
○「サアいくな手前が泣いたつて仕方がねえ、助けて置いてやりてえが助けて置けば露顯のもとだ、この女は手前が殺せと言つても殺す氣支えねえ、大勢で慰んだ末、そんな年でもねえから遠い所へ連れて行つて女郎に賣るんだ」
金「どうか左様な事を仰言いませんで、手前にも義理ある姉でございませうから金子が入用ならいくらでも差上げますから、又持合せが足りないと言ふなら、信州小諸へ飛脚を立てて」
○「馬鹿な事を言へ、飛脚を立て、泥棒の所へ金を屈ける奴があるか」
×「頭、そんな事をぐづくづ言つてゐたつて仕方がねえ、たゝんで了つた方が宜し」
○「ソレツ殺つつけろ」
金「エ、情けない」
と言ふ内に越見瀧といふ相撲も縛られ、金次郎も縛られてゐるし、就いて参つた供の者も皆縛られて只繩に掛らないのはおきくだけでありませうけれどもしつかり押えられてゐるからどうする事も出来ない、七八人の賊が既に立掛つて斬らうとした時にズーンズンと言ふ地響、賊共は
甲「オイ何だらう」
乙「地震ぢやねえか」
と言つてゐる所へ、大音を揚げて
武「如何にも山賊共よく承れ人命を絶つて人の財を奪ふ



家が見えまして、岩家でございます、その内に人聲がするから
二「且那彼方にございませう、あれに居ります」
武「ヨシ、貴様は後から参れ、怪俄々するといかん

極悪非道の山賊天に代つて誅戮いたす、汝等命を拙者に渡せ」
と呼ばはつた賊共大きに驚き見ると先刻の相撲取を案内として
二「ヤア此お武家様を案内したからは、越見瀧も若旦那も心配する事はござんせん二子山が歸つて来ましたぞ……」
と呼ばはる聲に大勢の賊共は
○「野郎来たな、好い鹽梅だ壘んで了い」
×「合點だ」
と大勢側へ寄りました時に武士に於ては刀の柄へ手を掛け、ギラリと引抜いたる劍の稲妻、味な事をやるなど一人の賊が手向ひするのをエイツといふと背打ちに引つ叩いてバツタリそれへ倒れたが
○「やあ見てくれ、俺の首がなくなつた様だ」
そつつかしい野郎もあつたものでございませう。

極悪非道の山賊天に代つて誅戮いたす、汝等命を拙者に渡せ」
と呼ばはつた賊共大きに驚き見ると先刻の相撲取を案内として
二「ヤア此お武家様を案内したからは、越見瀧も若旦那も心配する事はござんせん二子山が歸つて来ましたぞ……」
と呼ばはる聲に大勢の賊共は
○「野郎来たな、好い鹽梅だ壘んで了い」
×「合點だ」
と大勢側へ寄りました時に武士に於ては刀の柄へ手を掛け、ギラリと引抜いたる劍の稲妻、味な事をやるなど一人の賊が手向ひするのをエイツといふと背打ちに引つ叩いてバツタリそれへ倒れたが
○「やあ見てくれ、俺の首がなくなつた様だ」
そつつかしい野郎もあつたものでございませう。

羽子板と
破魔弓を
陳列致しました
スガノヤ提灯店
平町四丁目 電話九五番

耳鼻咽喉科専門
鈴木病院
醫學士 鈴木正男
平町四丁目(電話五八番)
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

産科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 玄番彌一
平町新川町十九
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

共榮漆器店
初賣の景品御準備
本年は漆器の他に小雜貨類も取揃へ御便宜を計り極力奉仕勉強致します故是非本年も御愛顧御引立を御願ひ致します。
平町三丁目北裏通り
各産漆器 記念表彰品 恩賜賞品 進物贈答品 景品賞品類
外交員 至急募集
小店員

磐城共濟病院 電話(六四)一四二番
內科 醫學博士 石山謙郎
小兒科 醫學士 五十嵐雄二
婦人科 醫學士 有馬勇二郎
外科 醫學士 石山謙郎
皮膚性病科 醫學士 石山謙郎
耳鼻咽喉科 醫學士 石山謙郎
X線科 醫學士 石山謙郎
物理療法科 醫學士 石山謙郎
藥劑局 藥劑師 高木寶利
衛生試驗所 事務長 鈴木寶利